

各鉄工場ニ致言告書ヲ發シ一各ニ要求ヲ為サントスル件ニ付協議ヲ進  
メタル榎橋ナリガ在業行委員ハ賀川、久留、外行政長、野倉、萬波  
須、木純、柴田、高木、青柿、善市郎、堀義一外ニ三名其衝ニ  
當ルコトニ要スホ決定シタリト

一方造船所各工場ハ作業振リニ異常ナキモ電正会員ノ交渉ニ依リ  
造船部本工場ハ社長心得等集會シテ後ノ態度ヲ凝議シテ分傍  
觀ノコトニ申合セ又造船仕上工場社長心得ヲ替、夜決定ノ集會ヲ為スヤ、  
岸ハアルモ要スルニ電氣部ヲ除クノ外ハ唯其成行如何ヲ傍觀シワ、  
アルカ如シ

### 要 求 書

今般電氣工場職工ヲ以テ組織スル電氣工組合電正会ハ尤ノ要求ヲ決議シ  
提出仕候間先方濟審議ノ上回答期日越ニ何分ノ御沙汰相成度  
右要請求書及提案也

大正十年七月 日

電氣工組合電正会

### 株式會社川崎造船所御件

### 要 求 條 件

- 一 工場委員制度ヲ採用スルコト
  - 二 他ノ労働組合ニ加入スルノ自由ヲ認ムルコト
  - 三 解雇及退職手續
- (一) 項) 今社ノ都合ニ依ル解雇ノ場合ハ死亡ノ場合又ハ業務上ノ  
負傷ニ依リ退職セシムル場合ハ在ノ手當ヲ支給スルコト
- 勤続満六ヶ月以上一ヶ年以内ノ者ニハ日給五分
- 勤続満一ヶ年ヲ越スル期間満一ヶ月ニ付日給三分、増額
- 勤続満五ヶ年ヲ越スル期間満一ヶ月ニ付日給四分、増額
- 勤続満十ヶ年ヲ越スル期間満一ヶ月ニ付日給五分、増額